

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

現在、既存店舗(薬局)と農地がある場所に、業務スーパーと薬局を新設する。(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成21年6月26日		
店舗	店舗名称	(仮称)小牧市堀の内複合店舗	
	店舗所在地	小牧市堀の内二丁目55ほか6筆	
設置者	名称	ダイワロイヤル株式会社	
	代表者	代表取締役 越智 壯	
	住所	東京都台東区上野七丁目14番4号	
	備考	なし	
小売業者	名称	株式会社スギ薬局	
	代表者	代表取締役 米田 幸正	
	住所	安城市三河安城町一丁目8番地4	
	備考	ほか1名	
店舗面積	1,536 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	60 台
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	44 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	133 m ²
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	8.8 m ³
施設の運営	営業時間	開店	午前9時
		閉店	午後9時45分
	駐車場利用時間帯	午前8時30分から午後10時まで	
	駐車場出入口	数	2箇所
		位置	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで	
新設する日	平成22年2月27日		

3 参考事項

敷地面積	4,515 m ²		
建築面積	2,032 m ²		
延床面積	1,937 m ²		
業態	総合店		
用途地域	第2種住居地域	-	-
備考			

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	小売業者に対して、設置者が届出内容を伝達し、遵守するよう徹底させる
(5) 責任者の任命	店長を現場責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	関係行政機関と協議の上、指針に沿った合理的措置を講じる
(7) 通年の臨時措置	年間を通して混雑する時期に交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
144,123人	1,536 ㎡	1,054	14.40%	-	70.00%	2.00 人	0.64	52 台

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	-	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
62 台		2 台		0 台		0 台		0 台		60 台	

b 指針によらない「特別な事情」による算出

特別な事情による算出を行う場合は、aの表をコピーし入力してください。

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

併設施設はありません。

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走ホレター:無	2平面自走ホレター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	82 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

平面	種別	1	収容台数	60 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2箇所	県道	11m	あり	70m	6m	82	双方向	左折のみ	あり	

交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交通飽和度等の検討)

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

(ア)交通飽和度の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
地点1	飽和度	0.669	0.718		0.766	0.817	
	将来交通量 / 可能交通容量	0.761	0.877		0.908	0.976	
	ピーク時間帯	16時台			18時台		
地点2	飽和度	0.314	0.362		0.332	0.381	
	将来交通量 / 可能交通容量	0.522	0.663		0.455	0.583	
	ピーク時間帯	14時台			15時台		

周辺道路の混雑を回避するための対策等

-

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	敷地東側に1箇所、敷地西側に1箇所
駐輪場の収容台数	44 台
標準収容台数	44 台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	7 台
位置及び箇所	敷地東側に1箇所		

位置評価	台数評価

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	133㎡	あり	15分	3台	3台	

(イ)計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8:00 ~ 9:00	3台	14:00 ~ 18:00	9:00 ~ 10:00 19:00 ~ 22:00	あり	必要なし	

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

非配備の場合等の対応

作業人員には安全運転に努めるよう周知徹底する

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施予定	実施予定

評価

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	検討なし	-

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	なし	-

評価

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	19 m	19 m	廃棄物収集作業音	なし	なし	-
西方向	11 m	なし	来店客車両走行	3 m	なし	-
南方向	3 m	なし	設備機器	なし	なし	-
北方向	11 m	なし	来店客車両走行	なし	なし	-

遮音壁の影響	-
--------	---

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	-
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、作業員の騒音防止意識を高める指導
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	室外機とキュービクルは屋上に設置、低騒音型機器の導入、定期点検実施による異常騒音の発生防止など
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入、定期点検実施による異常騒音の発生防止など
駐車場からの騒音配慮	アイドリングストップ、クラクション、空ぶかしの防止の呼びかけ
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避、作業員の騒音防止意識を高める指導
経年劣化等の事後対策	定期点検実施による異常騒音の発生防止及び機器の取り替えなど

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	併設施設はありません
運営面の騒音配慮	併設施設はありません

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	15	冷却塔		給排気口	44	変電施設		浄化槽		ポンプ				
		変動騒音	冷凍機室外機	3	キュービクル	2										
衝撃騒音	自動車走行			後進警報ブザー		BGM		アナウンス								
		ゴミ収集作業		アイドリング												
	荷降し音		台車走行													
建物の構造(高さ)		鉄骨造平屋建て(8m程度)														

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

(ア)等価騒音レベル予測

		北(A)	西(B)	西(C)	南(D)
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	42.1 dB	46.1 dB	52.9 dB	42.6 dB
	評価				
設置者	夜間等価騒音レベル	9.4 dB	13.9 dB	23.9 dB	18.8 dB
	評価				
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
		東(E)			
用途地域		第2種住居地域			
昼間基準値		55 dB			
夜間基準値		45 dB			
設置者	昼間等価騒音レベル	53.9 dB			
	評価				
設置者	夜間等価騒音レベル	18.1 dB			
	評価				
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当			
	夜間等価騒音レベル検証	妥当			

基準値を超えた場合の対応等

全地点で環境基準値を下回っています。

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					ー
		北(a)	西(b)	西(c)	南(d)
用途地域		第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	4.8dB	8.1dB	19.5dB	18dB
	評価				
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-	-	-
		東(e)			
用途地域		第2種住居地域			
基準値を5dB減ずる要因		なし			
基準値		40dB			
設置者	定常騒音の騒音レベル	17.9dB			
	評価				
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-			
	評価	-			
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当			
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-			

基準値を超えた場合の対応等

全地点で基準値を下回っています。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	廃棄物は屋内で保管し、従業員による清掃を行います。
衛生問題関係配慮	同上

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	3.40 m ³	1日	0.319 t	0.10 t/m ³	3.19 m ³	変更なし	
金属製廃棄物用	0.40 m ³	1日	0.011 t	0.10 t/m ³	0.11 m ³	変更なし	
ガラス製廃棄物用	0.40 m ³	1日	0.009 t	0.10 t/m ³	0.09 m ³	変更なし	
プラスチック製廃棄物用	3.40 m ³	1日	0.031 t	0.01 t/m ³	3.07 m ³	変更なし	
生ごみ用	0.60 m ³	1日	0.260 t	0.55 t/m ³	0.47 m ³	変更なし	
その他可燃性廃棄物用	0.60 m ³	1日	0.083 t	0.38 t/m ³	0.22 m ³	変更なし	
合計	8.80 m ³	-	-	-	7.16 m ³	-	
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

生ごみとその他可燃性廃棄物は一緒にポリ袋に入れて保管しますが、届出容量の欄には便宜上合計保管容量を半分に割ってそれぞれ記載しています。

b その他の廃棄物等

該当なし

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

小売店舗以外の施設はありません。

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	なし
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	廃棄物は、分別、整理して保管し、リサイクル品はリサイクル業者へ引き渡し
	搬出作業の利便性の確保	廃棄物保管施設を荷さばき施設の近くに配置
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	早朝、深夜の作業回避、廃棄物保管施設の屋内化
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	なし
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	毎日回収
繁忙期の特別な措置	特になし。状況に応じて増便などの対応
運搬(予定)業者(免許番号)	一般廃棄物の回収許可業者及びリサイクル回収業者(業者は未定)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	リサイクル品については、対応リサイクル業者に委託
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	-
併設施設からの悪臭防止対策	-

評価

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	周囲の環境と調和する建物の外観、屋外広告物とします。
市町村等の公的計画への協力	特になし
照明等の配慮	周辺への光害とならないよう、照明の強さ、点灯時間など、必要最小限とします。
敷地内の緑地計画	プランター設置予定

評価

(仮称)小牧市堀の内複合店舗

市町村の意見概要	対応
意見なし	-
住民等の意見の概要	対応
意見なし	-
県の意見案	
意見なし	